

# 共に学び磨き進まん

日々向上 ~昨日より今日 今日より明日~

横中は  
愉快だ  
宇都宮

UTSUNOMIYA

2021年がスタートして、早1か月が経ってしまいました。今なお全世界的に猛威をふるっているコロナウイルスが、日本で確認されてから既に1年の年月が過ぎました。しかし、いまだに終息には至っていません。栃木県内では少しずつ収束に向かいつつあるように感じますが、全く油断はできない状況には変わりありませんので、決して気を緩めることなく、一人一人がやるべきことを確実に実行して、一日も早い終息を迎えられるようにしたいものです。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 交通安全教室(スケアード・ストレイト方式による)

昨年12月にスケアード・ストレイト方式(スタントマンが交通事故を再現する交通安全教室です。)による交通安全教室を行いました。

全校生徒の目の前で、自転車での一時停止不履行や並進、二人乗り、スマートフォンを操作しながらの運転など、「交通ルール違反」をした際に想定される事故をスタントマンの方が体を張って再現してくれました。

スタントマンの方々は、衝突のタイミングなどを十分練習したり、プロテクターを装着したりして身を守っているとともに、予めシミュレーションされた事故の再現なので大きな怪我を回避できますが、実際の事故ではそのような準備はできません。

本校では、自転車の乗り方、特に並進が多く、頻繁に地域の方からご指摘をいただきますが、**命に関わることでもありますので、確実に交通ルールを守り、安全な登下校をするよう各ご家庭でも十分ご指導をお願いいたします。**



## 第2回「体罰等に係る相談機会」のご案内

昨年8月末に実施しました標記相談会の2回目を実施いたします。この相談会は、職員による体罰や不適切な指導の根絶を図り、「信頼される学校づくり」を進めるための相談機会と考えております。第2回目の相談会を以下のとおり実施いたしますので、ご案内いたします。

- ・実施日時：2月24日(水)、25日(木) 両日とも9:00~16:00
- ・相談方法：校長・副校長が、電話相談または面談のいずれかご希望の方法で話を伺います。※面談をご希望される方は、事前に来校予定をお知らせ下さい。

## 「自立と貢献」の3年生(総合的な学習の時間)

3年生の総合的な学習の時間では、「自己の将来を考え見通す力」を身に付けるために、自主研究として課題研究学習を進めています。生徒一人一人が様々な課題を見つけ、それについて図書室の本やインターネットで調べたり、現地調査に出かけたりしながら学びを深めているところです。

その中から2つご紹介しますが、一つは、世界の恵まれない子ども達に対する「貢献

活動」です。もう一つは、万が一避難所に避難する事態になったことを想定した避難所運営についてです。「自立」の一環だと考えています。

**①「届けよう、服のチカラプロジェクト」に協力**

このプロジェクトは、某衣料品メーカーの〇二〇〇が行っているもので、不要になった子供服を世界の開発途上国の子供達に送って役立ててもらおうという趣旨で行われているものです。

この趣旨に賛同し、少しでも多くの協力をしたいと考えた生徒は、手作りポスターと募集通知を持って出身校



小学校での引取りとチェック・分類時の様子

の横川中央小学校と横川東小学校を訪れ、趣旨の説明とともに、子供服の回収をお願いしてきました。この行動力には感心させられました。我々大人も、ある意味見習うべきものかもしれません。

小学校での協力もあり、予想を遥かに上回る量の子供服を集めることができ、



大きな段ボール箱で10箱以上になりました。先日、無事に海外に届けられた旨の連絡があった

ところです。SDGsの一つ、貧困問題に、中学生として関われることをしっかりと成し遂げてくれたと感激しています。これからも、**行動力を武器に、周囲に貢献できる人であり続けてほしいと願っています。**

**②「避難所運営ゲームHUG（ハグ）」を体験**

ここ数年、様々な災害が全国規模で発生し、宇都宮市でも昨年は田川が氾濫したことは記憶に新しいと思います。そうした時に各地に開設されるのが避難所。今回生徒は、その避難所を「運営側」から見つめる学習を行いました。

県の防災士の方に来校していただき、「避難所運営ゲームHUG」を体験しましたが、このゲームは、避難所を訪れる多種多様な人々の条件（性別や年齢、家族と一緒にか単身か、家族構成、障害の有無、ペットの有無etc）によって、避難所の中での位置や配慮点などを様々な角度・視点から考え、最善解を見つけ出すというものです。

この活動を通じて、避難所運営の大変さはもちろん、**多角的・多面的に物事を見たり考えたりすることの大切さ**なども実感できたのではないかと考えています。「いざ」という時には、一人の自立した大人として関わり、自分よりも弱者に対して、**自ら手を差し伸べられる優しさと勇気をもった人間に成長して**いってくれることを祈念しています。

